

積算システムにおける 設計業務等の直接人件費（V3）等の集計について

積算システムにおける諸経費、電子成果品作成費等に使用する直接人件費（管理費区分：V3）等の金額は、以下の【例】のとおりに算出し集計しています。

また、端数処理については、土木工事標準積算基準書（計画・調査編）のとおりです。

【例 1】

第 2001 号 ○○測量		内訳書		1式 当り	
				適用年版 R0203	
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
00004 ○○測量	SJ0010 m2	30	42.96	1,288	
合 計	共 SJ0010 号 ○○測量				単価表 10,000 m2 当り
適用年版 R0203					
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
00007 測量主任技師	R0602 人	2.4	45,400	① 108,960	管理区：V3 [1]
00002 測量技師補	R0604 人	10.5	29,700	② 311,850	管理区：V3 [1]
00003 機械経費	ZS9001001 式	1		③ 5,049	Σ [1] * 1.20%
00005 材料費	ZS9001003 式	1		④ 3,787	Σ [1] * 0.90%
合 計				⑤ 429,646	
		1	当り	⑥ 42.96	端数区分：@4C 円/m2

- 管理費区分 V3（直接人件費）

『管理費区分 V3』の 10,000m2 当り

$$\textcircled{1} + \textcircled{2} = 108,960 + 311,850 = 420,810 \text{ 円} \dots \textcircled{7}$$

『管理費区分 V3』の 1m2 当り

$$\textcircled{7} / 10,000\text{m}^2 = 420,810 \text{ 円} / 10,000\text{m}^2$$

$$= 42.08 \text{ 円/m}^2 \dots \textcircled{8}$$

（端数区分：@4Cより有効数字4桁5桁目以降切捨て）

よって『管理費区分 V3』の金額は

$$\text{設計数量} \times \text{単価} = 30\text{m}^2 \times 42.08 \text{ 円/m}^2 = 1,262 \text{ 円} \text{（1 円未満切捨て）}$$

・ 管理費区分なし

『管理費区分なし』の10,000m² 当り

③+④=5,049+3,787=8,836 円・・・・・・・・・・・・・・・・・・⑨

『管理費区分なし』の1m² 当り

⑨/10,000m²=8,836 円/10,000m²
 =0.883 円/m²・・・・・・・・・・・・・・・・・・⑩

(端数区分：@で始まる場合は、小数第3位止め、4位切捨て)

⑩>0 となる場合の単位数量当りの単価は、システムでは以下ようになります。

⑥-⑧=42.96-42.08=0.88 円/m²

よって『管理費区分なし』の金額は

設計数量×単価=30m²×0.88 円/m²=26 円 (1 円未満切捨て)

【例 2】

第 2002 号 □□測量 内訳書 1 式 当り 適用年版 R0203

名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
00007 □□測量	SJ0100 m ²	20,000	43	860,000	
合 計	共 SJ0100 号 □□測量				単価表 10,000 m ² 当り

適用年版 R0203					
名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
00008 測量主任技師	R0602 人	2.4	45,400	① 108,960	管理区:V3 [1]
00009 測量技師補	R0604 人	10.5	29,700	② 311,850	管理区:V3 [1]
00010 機械経費	ZS9001001 式	1		③ 5,470	Σ [1] * 1.30%
00011 材料費	ZS9001003 式	1		④ 3,787	Σ [1] * 0.90%
合 計				⑤ 430,067	
		1	当り	⑥ 43 円/m ²	

・ 管理費区分 V3 (直接人件費)

『管理費区分 V3』の10,000m² 当り

①+②=108,960+311,850=420,810 円・・・・・・・・・・・・・・・・・・⑦

『管理費区分 V3』の1m² 当り

⑦/10,000m²=420,810 円/10,000m²
 =42 円/m²・・・・・・・・・・・・・・・・・・⑧

(端数区分：指定がないため1円未満切捨て)

よって『管理費区分 V3』の金額は

$$\text{設計数量} \times \text{単価} = 20,000\text{m}^2 \times 42 \text{ 円/m}^2 = 840,000 \text{ 円 (1 円未満切捨て)}$$

- 管理費区分なし

『管理費区分なし』の 10,000m² 当り

$$\textcircled{3} + \textcircled{4} = 5,470 + 3,787 = 9,257 \text{ 円} \dots \dots \dots \textcircled{9}$$

『管理費区分なし』の 1m² 当り

$$\textcircled{9} / 10,000\text{m}^2 = 9,257 \text{ 円} / 10,000\text{m}^2$$

$$= 0 \text{ 円/m}^2 \dots \dots \dots \textcircled{10}$$

(端数区分: @以外で始まる場合(指定なし)は、1 円未満切捨て)

⑩=0 となる場合の単位数量当りの単価は、システムでは 0 円となります。

よって『管理費区分なし』の金額は

$$\text{設計数量} \times \text{単価} = 30\text{m}^2 \times 0 \text{ 円/m}^2 = 0 \text{ 円 (1 円未満切捨て)}$$